

令和6年度 地域介護専門職員研修 開催要綱

1. 目的

介護に関する業務を行う上で必要な知識・技術について、より専門性を高め、かつ自らの所属する施設（機関、事業所等）内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担う人材の養成を目的とします。

2. 主催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 受講対象

介護や高齢者など福祉に関わる事業所・施設等の職員で、職場内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担うことができる職員（または期待される職員）を受講対象とします。

詳しくは、各研修の「受講対象」欄をご確認ください。

4. 各研修の概要

※プログラム・内容の詳細については県社協ホームページからご確認ください。

①-1 企画力アップ研修（地域アセスメント編）		定員 30名 参加負担金 3,000円 申込締切 5月21日（火）
期日	前期：令和6年6月14日（金） 後期：令和6年7月19日（金）【2日間】	
目的	地域の実情を見つめなおすきっかけとし、「介護」に関わる人たちが、『ぜひ参加してみたい！』と思えるような介護に関する講座等企画の実施にあたり必要な地域アセスメントの手法を学ぶ。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	・個別課題を地域の課題としてとらえる ・地域課題の実際事例 ・地域アセスメントの視点 など ※他の「企画力アップ研修」とのセット受講をおすすめします。	
①-2 企画力アップ研修（広告作成編）		定員 20名 参加負担金 2,000円 申込締切 6月25日（火）
期日	令和6年7月26日（金）	
目的	施設・事業所で住民等対象の事業やイベント等を地域に向けて発信にあたり、チラシ等の広告作成のノウハウを学ぶことで、イベント等の参加者の確保につなげ、地域の福祉力向上を図る。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	・基本的なレイアウト・デザインを学ぶ ・肖像権や著作権の利用について ・すぐに使えるテンプレートの紹介 など ※他の「企画力アップ研修」とのセット受講をおすすめします。	

①-3 企画力アップ研修（研修・イベント実施編） ～つつがなく成功に導くためのコツとは～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 8月16日（金）
期日	令和6年9月19日（木）	
目的	施設・事業所等の主催で、住民等を対象として研修やイベントを実施し、自身が講師や進行役となって登壇する際の、プレゼンテーション力（表現力）やファシリテーション力（促進力）を高め、つつがなく成功に導くためのコツを学ぶ。	
受講対象	高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、介護に関する講座（サロン・カフェ）や研修、イベント等の企画・運営・実施を担当している者。または今後担当したいと考えている者。	
内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション（表現力）とは？ ・ファシリテーション（促進力）とは？ ・伝わりやすい語り方、人前で話す態度やふるまい など ※他の「企画力アップ研修」とのセット受講をおすすめします。	

②-1 相談援助面接研修（記録編）基礎コース ～明日から活用できる福祉職の「記録」の基礎を学ぼう～ 【オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 2,000円 申込締切 11月8日（金）
期日	令和6年12月11日（水）	
目的	相談援助職や介護職に必要な「記録」の基礎的な考え方や方法を学ぶ。	
受講対象	介護業務や相談援助業務等に1年以上従事している者。または、それに資する経験や知識を持つ者。介護記録や相談記録の基本的な書き方を身につけたい者。	
内容（概要）	※Z o o mを活用したオンライン研修として実施します。（会場での受講も可能。） <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助職に求められる記録 ・記録に必要とされる要素 ・実際の記録の演習等 	
②-2 相談援助面接研修（記録編）実践コース ～福祉職の「記録」を事例を通して実践的に学ぼう～ 【オンライン研修】		定員 40名 参加負担金 2,000円 申込締切 12月20日（金）
期日	令和7年1月22日（水）	
目的	「記録」の実際について、事例を中心に現場で応用し実践できる内容を学ぶ。	
受講対象	昨年度までに相談援助面接研修（記録編）基礎コースを受講している者。又は今年度実施の「基礎コース」を受講見込みの者。	
内容（概要）	※Z o o mを活用したオンライン研修として実施します。（会場での受講も可能。） <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助職として書く記録 ・専門職として適切な表現 ・記録の実際（事例を用いた様々な場面での記録の方法） ・実際の記録の演習等 	

③ 相談援助面接研修（初級編）		定員 各30名 参加負担金 各3,000円 申込締切 第1回 5月14日（火） 第2回 8月20日（火）
期日	第1回：令和6年5月30日（木）～31日（金） 第2回：令和6年9月11日（水）～12日（木）【各2日間】※いずれも同じ内容です。	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・対人援助職に必要な倫理や、面接の基礎的な知識・技術を再確認する。 ・実践的な手法を学び、相談援助業務を円滑に進められるようになる。 	

受講対象	相談援助業務に1年以上従事し、より専門的な知識・技術の修得を希望する者。 または、それに資する経験や知識を持つ者
内容(概要)	・相談援助専門職に必要とされる資質について ・映像「面接の招待」を使用しての面接練習・相談援助職の心得と対人援助の基本的視点（YESのメンタルセット、脱三角関係など）

④ 相談援助面接研修（中級編） ～相談援助専門職としてのさらなるスキルアップを目指そう～		定員 30名 参加負担金 5,000円 申込締切 8月6日（火）
期日	前期：令和6年10月 9日（水）～10日（木） 後期：令和6年11月13日（水）～14日（木）【全4日間】	
目的	・相談内容に柔軟に対応・介入できる知識や技術を学ぶ。 ・利用者の生活状況や生活課題を理解・分析するための方法や援助技法を学ぶ。	
受講対象	相談援助業務に5年以上従事している者。または、それに資する経験や知識を持つ者 （先に③相談援助面接研修（初級編）を受講していることが望ましい。） ※申込書送付の際に、「基本情報シート」（別紙）を併せてお送りください。	
内容(概要)	・相談援助面接の基本と援助姿勢の考え方 ・アプローチ技法（医療モデル、社会モデル、システム論的家族療法アプローチ法など）、ロールプレイを通しての面接のスキルアップ	

⑤ 福祉用具・住宅改修研修		定員 30名 参加負担金 4,000円 申込締切 9月3日（火）
期日	前期：令和6年10月2日（水） 後期：令和6年11月7日（木）～8日（金）【全3日間】	
目的	・要介護者等の自立した在宅生活を支援するための福祉用具の活用方法や住環境整備の概要、住宅改修にあたっての必要な知識・技術等を一体的に学ぶ。 ・他職種との連携のあり方について理解を深める。	
受講対象	高齢者の相談援助業務等に従事し、利用者の生活支援のための福祉用具導入や住宅改修に関する基本的知識・技術の習得を希望する者。	
内容(概要)	・福祉用具・住宅改修に関する基礎知識 ・様々な福祉用具の選び方・使い方 ・自立を目指した日常生活動作と福祉用具の適応・活用方法について ・手すり設置のポイント ・福祉用具・住宅改修のプランニング演習	

⑥ 排泄ケア研修 ～利用者の尊厳を守り、生き方を支えるケアを学ぼう～		定員 30名 参加負担金 5,000円 申込締切 6月21日（金）
期日	前期：令和6年 8月 2日（金）～ 3日（土） 後期：令和6年 9月27日（金）～28日（土） 【全4日間】	
目的	・利用者の尊厳や生き方に関わる「排泄」の課題について、その機能障害の原因やメカニズム、排泄用具の使用方法を学ぶ ・チームケアを実施するための考え方・手法を学ぶ。	
受講対象	入所施設等で3年程度、排泄ケアに携わってきた者。または、それに資する経験や知識を持つ者 ※事前学習課題（事例、排尿記録）を提出頂くことが必須条件になります。	
内容(概要)	・排泄ケアに必要な基礎知識 ・アセスメントに活用できる排泄記録の読み方・使い方 ・認知症高齢者の排泄ケア ・排泄ケアに役立つ用具・用品ならびに食品 ・排泄ケアにおける問題の捉え方、目標の設定評価について ・事例検討	

⑦-1 ピンポイント介護技術研修（移乗・移動介助編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 7月26日（金）
期日	令和6年8月27日（火）	
目的	要介護者の生活を支える基本的な移乗・移動の介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・介護技術の基本 ・ボディメカニクスで考える介護動作 ・実技（移乗・移動の介助）	
⑦-2 ピンポイント介護技術研修（介護レクリエーション編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 10月 1日（火）
期日	令和6年10月29日（火）	
目的	介護施設等で活用できるレクリエーションを実践的に学び、要介護者の生きがいやQOLの向上につなげる。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・レクリエーションの意義や役割 ・レクリエーション事例の紹介や実践	
⑦-3 ピンポイント介護技術研修（排泄介助編） ～実技中心の研修で、もう一度学び直そう～		定員 30名 参加負担金 2,000円 申込締切 10月22日（火）
期日	令和6年11月20日（水）	
目的	要介護者の生活を支える基本的な排泄の介護技術について学び、適切な支援ができるようになるとともに、家族などにもアドバイスできる職員を目指す。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・排泄介護技術の基本 ・実技（おむつの介助等）	
⑧ 福祉施設職員のためのコミュニケーション力向上研修 ～利用者の気持ちに寄り添ったコミュニケーションを行うためのヒント～ 【オンライン研修】		定員 60名 参加負担金 2,000円 申込締切 1月7日（火）
期日	令和7年2月5日（水）	
目的	主に福祉入所・通所施設における利用者とのコミュニケーションを、ナッジ（行動経済学）の視点から利用者の感情や行動の原因を科学的に学ぶことで、利用者を望ましい行動へと促すヒントについて理解を深める。	
受講対象	介護業務に従事し、更なる知識・技術の習得を希望する者。	
内容（概要）	・ナッジ（行動経済学）の基礎知識 ・ナッジを活用したコミュニケーション例	

5. 会 場

『福島県男女共生センター』（女と男の未来館） 二本松市郭内一丁目196-1

※会場の変更があった場合は、各受講決定者へ別途お知らせします。

6. 受講申し込み方法について

- 別紙『受講申込書』に必要事項を記入のうえ、FAX又はメールにてお申込みください。
- 到着後3日（営業日）以内に「到着確認印」押印し返信FAXいたします。返信がない場合はご連絡ください。
- 各コースとも先着順で定員になり次第締め切ります。同一の研修コースに複数名の申込をした施設等については、受講者数の調整をさせて頂く場合がありますので予めご了承願います。
- 定員が超過した場合は、本会HP（9.「その他」にURL等記載）に掲載しますので、そちらも併せてご確認ください。

申込期間 令和6年4月12日（金）～

※申込締切日は各コースにより異なりますので、ご注意ください。

7. 受講者の決定について

- 申込締切後に受講者を確定し、受講決定通知を所属長宛てに送付します。
- 受講決定通知は、各研修の申込締切後約1週間程度で送付します。研修開催日の1週間前になっても届かない場合は、本会にご連絡ください。
- 事前課題を課す研修の場合は、受講決定通知の際に同封し、お知らせいたします。

8. 個人情報の取扱いについて

『受講申込書』に記載された個人情報は、研修の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修の名簿に氏名・所属・職名を記載します。

9. その他

- 参加負担金は研修会初日または振込用紙（オンライン研修）により徴収します。新型コロナウイルスによる理由に関わらずその後欠席されても返金できませんのでご了承ください。
- 地震や台風、感染症の影響等により中止や延期とする場合があります。その場合は本会ホームページにてお知らせいたします。

※福島県社会福祉協議会ホームページ <https://www.fukushimakenshakyō.or.jp/>

- 当該研修についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。



問 合 せ 先	福島県社会福祉協議会 人材研修部 福祉研修課 二本松事務所(介護実習・普及センター) 〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1 福島県男女共生センター5階 電話 0243-23-8306 FAX 0243-62-4633 E-mail kaigo@fukushimakenshakyō.or.jp ※日曜・月曜・祝日は定休（月曜が祝日の場合は火曜まで休みとなります。）
------------------	--